

6年連続ベアゼロに抗

議

回答の要旨

〈正社員の処遇〉

- ・定期昇給の実施
- ・ベアゼロ
- ・一時金、年間4, 3月、夏期2, 15月、年末2, 15月

〈期間雇用社員の処遇〉

- ・賃金改善なし
- ・一時金改善なし
- ・最高裁判決を受けて、制度改正成案でき次第示す

- ・来年度正社員登用数を今年度実績から約500人増やす
- ・地域基幹職等へのコース転換応募要件の緩和（直近2年間の人事評価のうちS査定が1回以上あること）

〈その他〉

略

ゼロ回答に職場では「コロナ禍でリスクを負いながら働いている。他では支給されている特別手当はないし、賃上げもゼロ回答ではやる気がなくなる」、「またもや

本部日巻委員長は、「正規、非正規社員のベースアップは困難、一時金は昨年同様4, 3月、非正規社員の待遇改善もゼロ回答は不誠実だ。この6年間、純

郵政ユニオンは春闘で正社員2万円、非正規社員の時給引き上げを求めてたたくまいました。会社は第3四半期決算では7000億円もの経常利益を生みだしていることから、賃上げは可能です。しかし、会社の回答は「とりまく経営環境は厳しい」と、背を向けるものでした。

ゼロ回答か。ひどいものだ」という声があがっています。これに抗議するとして郵政ユニオンは3月19日、15職場で26人が時限ストに立ち上がりました。11時から行われた本社前行動では東京、関東の組合員、全労連、全労協もかけつけ100人が抗議しました。

利益が上がっていてもゼロ回答に終始するのは会社の姿勢が問われる。郵政は現場の声を聞いて社会的責任を果たせ」と力強く挨拶。全労協、全労連、国公労連が連帯挨拶。その後、地本役員が「賃上げゼロ回答は許さないぞ」、「非正規社員の均等待遇を直ちに行え」、「大幅増員を行え」とコールし、全員で声をあげてきました。

職場から怒りの声

社会的責任が問われる

ゼロ回答を聞いて

郵政の回答は

郵政ユニオンは諸要求実現に向けた取り組みを引き続き強化していきます。一緒に頑張っていこう。

